



国指定重要文化財 札幌市時計台

# 時計台の鐘

第 81 号

特定非営利活動法人

さっぽろ時計台の会

会長 谷 征 輝

札幌市中央区北1条西2丁目

時計台内

TEL 011-251-5944

## 「時計台の鐘」を歌いましょう

理事 太田 幸雄

札幌市の時計台は、明治11年（1878年）に札幌農学校の演武場（体育館）として作られました。なお札幌農学校は現在の北海道大学であり、初代教頭が「青年よ大志をいだけ」で有名なクラーク博士です。3年後にこの時計台にアメリカ・ハーワード社製の振り子式塔時計が据え付けられました。それ以来この時計は時を刻み、札幌市民に親しまれてきました。この時計は電気を全く使わない機械式で、豊平川の石の重りで時計の針を回し、時刻を知らせる鐘を鳴らしています。運針用の重りは8日ごとに、打鐘用の重りは4日ごとにハンドルで手まわしにより巻きあげられています。なお平成21年8月には、駆動している国内最古の塔時計として機械遺産に認定されました。

札幌農学校は、明治36年（1903年）に現在の北海道大学の場所に移転しましたが、演武場は当時の札幌市が譲り受けて市民の建物となり、「時計台」と呼ばれるようになりました。

「時計台の鐘」の歌は、大正12年（1923年）にバイオリニストで指揮者の高階哲夫氏によって作詞・作曲され、それ以来、全国で愛唱歌として親しまれてきました。高階氏は富山県滑川市の出身です。滑川氏では2016年10月に高階哲夫展が開催され、高階氏の年譜や幼少期からの写真のほかに、「時計台の鐘」の楽譜が展示されたとのことでした。

時計台は札幌のシンボルとして全国的に有名で、テレビの旅番組やドラマなどで札幌が舞台になると必ずと言っていいほど画面に出てきます。しかしながら「時計台の鐘」の歌は、最近歌われることが少なくなってきたようです。以前は小学校の音楽の教科書に載っていましたが、いまでは取り上げられていないとのこと残念なことです。札幌市民の歌として、市内の小学校でぜひ歌ってもらい、また市内の様々な建物や施設でもバックグラウンドミュージックとして流してほしいものです。ぜひみんなで「時計台の鐘」を歌いましょう。

第35回 (平成28年)

時計台まつり記念行事



創建記念式典・児童絵画展表彰式

創建138周年を迎え、札幌児童絵画展表彰式を観光文化局文化部長の川上様はじめ、多数のご来賓のご出席をいただき盛大に開催いたしました。児童絵画展表彰式と合わせて、児童、ご両親をはじめ関係者の皆様が見守る中、行うことができました。式典では、川上部長に秋元市長からのメッセージを代読していただきました。時計台への思いを語られ、改めて時計台への愛着、そして札幌への郷土愛をふかめることができました。

時計台を愛する心をひとつにすることができ、喜ばしい式典となりました。



裏千家淡交会による呈茶

今年度も、淡交会の皆様が、十月八日(土)

に入館者お客様にお茶を入れてくださいました。

雛菓子や抹茶の準備の都合上、ほとんど午前中で終了してしまいましたが、来館したみなさまには好評で、時計台でのゆったりとした時間をすごしていただいております。

淡交会の皆様には、毎年お世話になっておりますが、観光客の皆様とともに札幌市民の皆様にも是非このひとときを味わっていただけたら嬉しいのです。

記念演奏会

各種ジャンルの音楽コンサート等を年5回実施しています。「広報さっぽろ」、北海道新聞社社告、各区公共施設へのチラシ配布を通し、市民への広報に努めてきた甲斐があり、盛会にコンサートを開催することができました。応募者が、入場者定員を上回るコンサートもありましたが、抽選をさせていただきました。

記念演奏会を通して、札幌市時計台をより市民に親しんでもらい、更には行事を通して札幌市への郷土愛、市民意識の向上を図るとする本行事の目的を十分に果たすことができますものと考えます。

◆◆今年度の音楽コンサート◆◆

① 六月二十四日(金)  
ジャズコンサート  
赤坂実+きむらあつこ

② 七月二十九日(金)  
ピアノとDJ  
辻千絵、大前光弘

③ 八月二十六日(金)  
シンガーソングライター露菜+ピアノ演奏  
奏遠

④ 九月三十日(金)  
ハローモニ  
カ演奏  
札幌ハロー  
モニカ倶  
楽部月二  
十七日(水)

⑤ 十月  
十四日(金)  
マリリンバ  
とピアノ  
杏野勢津  
子、田島  
ゆみ



# 第35回時計台まつり記念児童絵画展



札幌時計台賞

札幌市立明園小学校  
4年 中岡 紗愛



札幌市長賞

札幌市立山鼻小学校  
5年 棟朝 遥香



札幌時計台賞

札幌市立発寒東小学校  
2年 濱野利佳子



札幌市教育長賞

札幌市立北の沢小学校  
3年 中澤 樹里



NHK賞

札幌市立百合が原小学校  
1年 重松 類



北海道新聞社賞

札幌市立東園小学校  
6年 大関 結



北海道新聞社賞

札幌市立幌西小学校  
4年 東原 花歩

- 銅賞**
- 札幌市立平岡小学校 1年 高橋 怜花
  - 札幌市立平岡南小学校 2年 茂内日菜太
  - 札幌市立北の沢小学校 3年 木村琉々夏
  - 札幌市立日新小学校 4年 杉本 三佳
  - 札幌市立新琴似北小学校 5年 松尾 夏希
  - 札幌市立藤野小学校 6年 伊田 紗雪

- 銀賞**
- 札幌市立東橋小学校 1年 久木 雄己
  - 札幌市立新光小学校 2年 斉藤 莉子
  - 札幌市立緑丘小学校 3年 森 桃子
  - 札幌市立明園小学校 4年 森 美貴
  - 札幌市立厚別通小学校 5年 藤田 唱
  - 札幌市立北野台小学校 6年 和泉沢祐輝

- 金賞**
- 札幌市立本町小学校 1年 于 美希
  - 札幌市立清田緑小学校 2年 泉 春亜
  - 札幌市立北の沢小学校 3年 橋場 草風
  - 札幌市立明園小学校 4年 樋口 茜里
  - 札幌市立山鼻小学校 5年 棟朝 悠香
  - 札幌市立岸高台小学校 6年 保岡 心菜

- 入選**
- 札幌市立北の沢小学校 3年 森 琴葉
  - 札幌市立明園小学校 4年 野山 里菜
  - 札幌市立あやめ野小学校 5年 羽川 綺香
  - 札幌市立宮の森小学校 5年 津田 彩花
  - 札幌市立立西小学校 2年 石川 宗誠
  - 札幌市立宮の森小学校 2年 伊庭 歩莉
  - 札幌市立北の沢小学校 3年 佐々木史龍
  - 札幌市立北の沢小学校 3年 三木 晴登
  - 札幌市立山鼻小学校 5年 西松 知輝
  - 札幌市立上野幌西小学校 5年 伊藤 愛実
  - 札幌市立北小学校 6年 眞木 美鈴

審査をしていただいた先生からは、「絵に表す技能はもちろん、ものを見てとらえる力の発達を感じられる」  
「子どもたちの描きたいという気持ちを大切に、今後も自分らしい絵を描いてほしい」との評をいただきました。  
来年度も多くの応募を楽しみにしています。

○今年度も、募集案内を市内小学校に送付するとともに道新にも募集記事を掲載していただき、絵画の募集を行いました。各学校、絵画教室等からの応募は126点で、昨年度より30点多い応募がありました。  
「時計台や札幌の歴史的建造物を描くことにより、子どもたちにこれからの財産を引き継ぐとともに、愛護する気持ちを育てていきたい」ということを願って、この絵画展を開催いたします。今年度の力作です。ご覧下さい。

平成28年度会の主な活動

- 3月10日 時計台まつり記念行事の出演団体の決定・連絡
- 4月18日 新渡戸博士の生涯 中央区民センター
- 4月27日 会計監査
- 28日 「広報さっぽろ」6月号原稿依頼
- 5月6日 第1回理事会
- 13日 通常総会  
(活動・決算報告、活動計画・予算審議)
- 17日 時計台まつり実行委員会の委嘱
- 時計台まつり実行委員会案内
- 18日 札幌市記念行事負担金交付申請  
札幌市、NHK等への名義申請、協賛、特別賞出賞の依頼
- 19日 会員への総会報告・会費納入案内
- 23日～29日 新渡戸博士の生涯 白石区民センター
- 27日 第1回 時計台まつり実行委員会
- 28日 「広報さっぽろ」7月号原稿依頼  
演奏会プログラム印刷発注
- 6月10日 まつり事業ちらし送付
- 24日 会員証発送開始  
第1回時計台まつり記念演奏会  
「ジャズコンサート」
- 7月13日 各学校へ児童絵画展作品募集案内依頼
- 15日～21日 新渡戸博士の生涯 北区民センター
- 23日 児童絵画展作品募集 道新掲載
- 29日 第2回 時計台まつり記念演奏会  
「アニメソングと映画音楽」
- 8月24日～
- 9月6日 児童絵画展作品受付
- 26日 第3回時計台まつり記念演奏会  
「シンガーソングライター露菜と  
ピアノ演奏遠」
- 9月7日 児童絵画作品審査依頼
- 12日 記念式典来賓主賓積依頼
- 15日 呈茶打合せ
- 23日 児童絵画展審査会
- 30日 第4回時計台まつり記念演奏会  
「札幌ハーモニカ倶楽部」
- 10月7日 児童絵画展入賞者道新掲載
- 8日～14日 児童絵画優秀作品展示
- 14日 時計台創建138年記念式典・絵画展優秀者表彰式  
創建記念演奏会  
「マリンバとピアノ」
- 18日 児童絵画展入賞者への賞状・賞品の発送
- 19日 後援・協賛事業終了報告とお礼
- 11月13日 次年度時計台ホール使用申請
- 18日 第2回時計台まつり実行委員会
- 12月1日 次年度時計台まつり記念行事出演者の公募  
「広報さっぽろ」に掲載
- 5日 会報原稿依頼
- 2月1日 会報「時計台の鐘」81号発行
- 3月上旬 H29年度時計台まつり記念行事出演者決定予定

名曲「時計台の鐘」―時計台寸描⑨

木原直彦

先ごろ、久しぶりに北海道大学総合博物館を訪れた。展観の導入部に東京大学総長だった矢内原忠雄の言葉が掲げられている。日本の大学の二大潮流は東京大学と札幌農学校であり、前者の学风が国家主義者のに対し後者は民主主義者である、と――。

矢内原は旧制第一高等学校在学中に新渡戸稲造に師事し、その勧めで無教会派クリスチャンの内村鑑三に指導を受け、反戦平和を説き続けた人である。

新渡戸と内村は北大植物園を創設した、植物学者の宮部金吾と共に札幌農学校二期生の「三羽鳥」として知られるが、そしてその名を並べてみると、いわゆるクラーク博士に導かれ培われた(札幌農学校精神)の源泉のことが思われる。

言うまでもなく、農学校は演武場だった時計台のある場所で開催した。そうなのだ。彼らの学び舎の面影を偲ぶ遺産は「時計台」しかない、という事実を！

函館出身の文芸評論家・亀井勝一郎は、北海道固有の精神の種子をまいたのは札幌農学校であり、文学的にも、ここから北海道文学の系譜は始まる、と言っている。札幌出身の作家・島木健作は、札幌と札幌農学校とを切り離して考えることはできず、新渡戸・内村・宮部といった人々が育ったのであり、この農学校に結晶されたものが自然に札幌の知識階級の精神生活の上に影響した、と結論づけている。

付け足しを一つ。農学校に隣接した新渡戸義援宅があった。生徒の有島武郎が寄宿した家でもあり、全日空ホテルに居住地跡が建つ。

事務局だより

◆今年度の時計台の鐘では、「児童絵画展」の特集を組みました。昨年度若干応募者数が少なく、広報活動に力を入れたところ、応募数が増えたのと、特別賞を受賞した保護者の方から感謝のお電話を頂き、この小さな児童画展が子供たちの自信につながることを再認識し、今後是非とも続けていきたいと思ひ、作品の紹介をしようと考えました。

◆「札幌のシンボルである時計台を守り、より広く市民、道民、日本中の方々にこの建物の存在の大切さを伝えること」が一番の目的です。安定的に存続していくには、会員の増強を積極的に行っていくつもりです。会員になっていただけませんか？詳しくは251-5944(吉田)に連絡をお願いいたします。よろしくお願ひいたします。

◆さっぽろ時計台の会 HPアドレスです。  
<http://sapporotoketai.sakura.ne.jp>